

# 2024年3月期 決算補足説明

スターティアホールディングス株式会社

東証プライム 3393

The logo for Startia Holdings, featuring a white curved line above the text "startiaholdings" in a white, lowercase, sans-serif font.

section

# 01

## 01 2024年3月期 グループ連結業績概要

- (1) グループ連結
- (2) ITインフラ事業
- (3) デジタルマーケティング事業

## 02 Appendix

- (1) Topics
- (2) 会社概要

# 1. 2024年3月期 グループ連結業績概要

The logo for startiaholdings features the word "startia" in a bold, lowercase sans-serif font, followed by "holdings" in a lighter, lowercase sans-serif font. A thin black arc is positioned above the "startia" portion of the text.

最先端を、人間らしく。

# 1. 2024年3月期 グループ連結業績概要

## (1) グループ連結

## 2024年3月期 連結PLサマリー(前年同期比較)

通期を通して電力調達コスト下落が全体の売上高に大きく影響も、ITインフラは電力以外の商材売上で堅調に推移。デジタルMの利益化が貢献し、過去最高益更新！

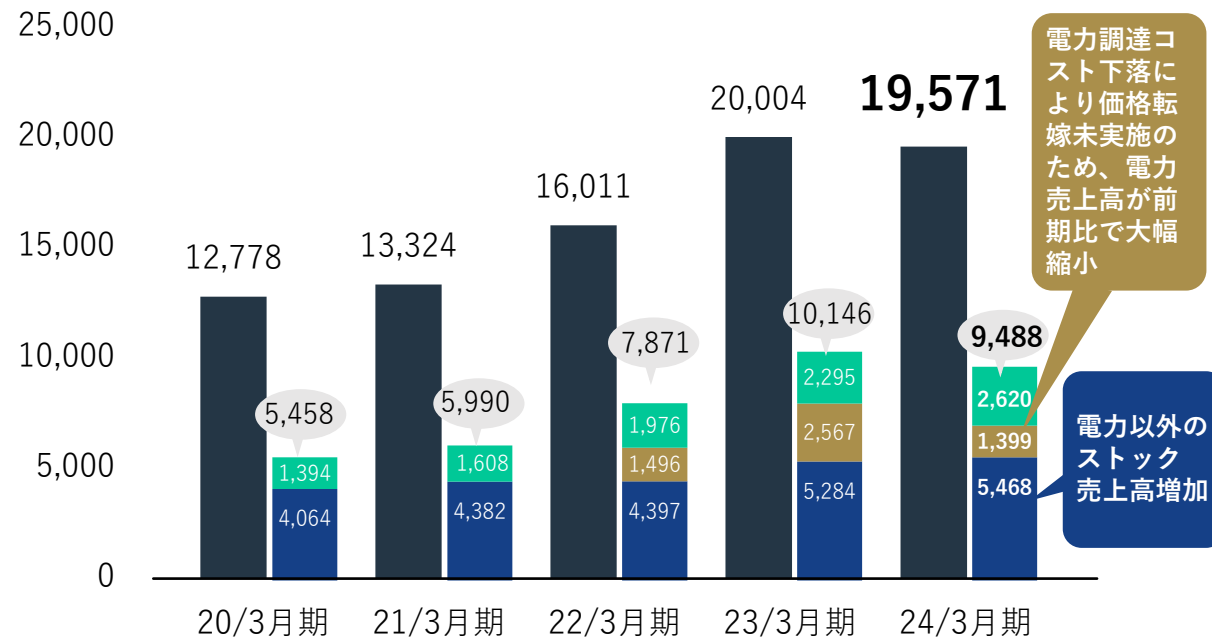
(単位：百万円)	2023年3月期	2024年3月期	増減	前年同期比
売上高	20,004	<b>19,571</b>	<b>△433</b>	<b>△2.2%</b>
売上総利益	8,454	<b>9,176</b>	<b>+721</b>	<b>+8.5%</b>
営業利益	1,724	<b>2,282</b>	<b>+558</b>	<b>+32.4%</b>
経常利益	1,844	<b>2,253</b>	<b>+408</b>	<b>+22.2%</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,212	<b>1,546</b>	<b>+333</b>	<b>+27.5%</b>
EBITDA	2,258	<b>2,712</b>	<b>+454</b>	<b>+20.1%</b>

# 売上高推移・営業利益推移

電力コスト減が売上に影響するもデジタルマーケティングが力強く成長、利益は過去最大へ。

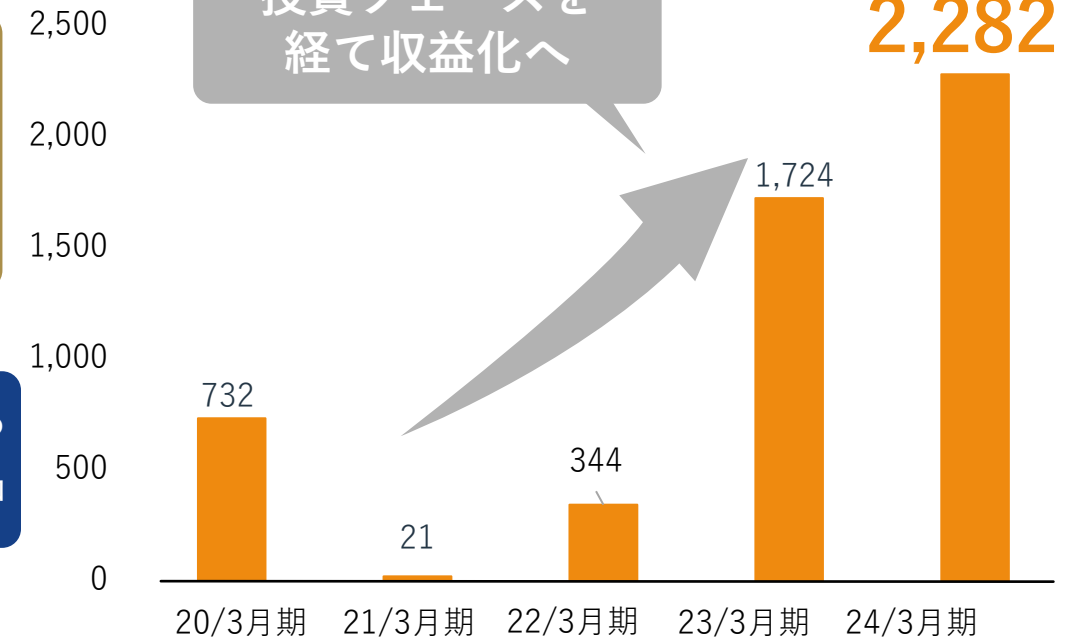
## 売上高推移

■ 連結売上高 (単位：百万円)  
 ■ デジタルM事業ストック売上  
 ■ ITインフラ事業電力ストック売上  
 ■ ITインフラ事業ストック売上(電力除く)



## 営業利益推移

■ 連結売上高 (単位：百万円)  
 ● 連結営業利益

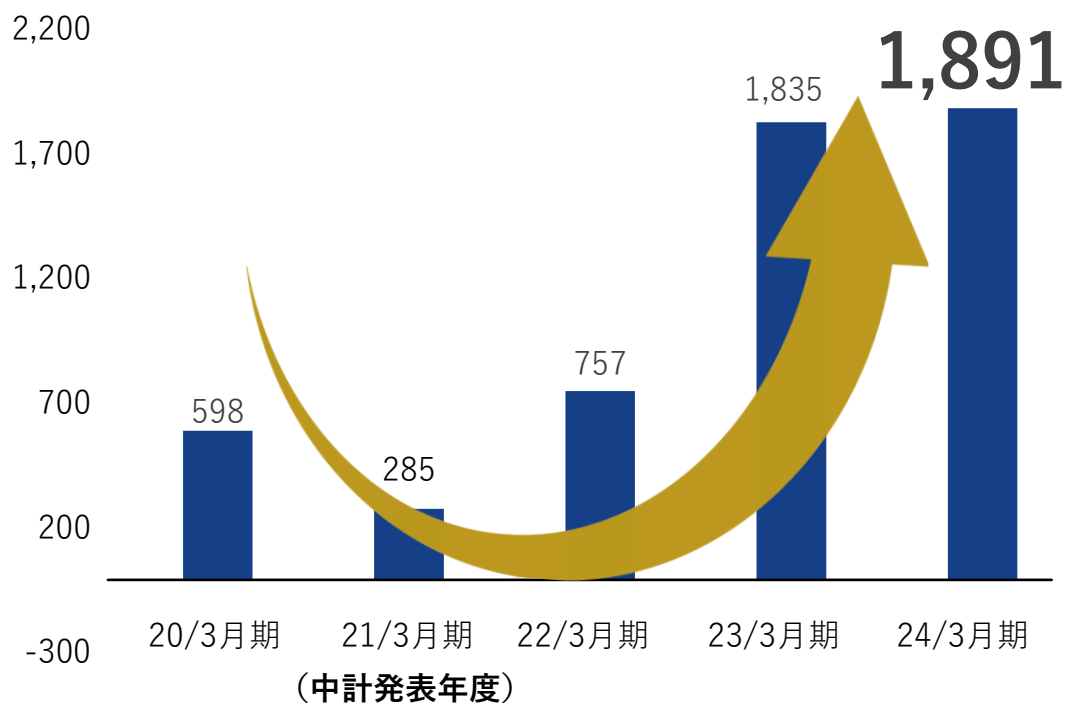


# セグメント別 セグメント利益推移

中期計画当初は積極投資を実行、デジタルM事業はサブスク型ヘシフトも収益化フェーズへ

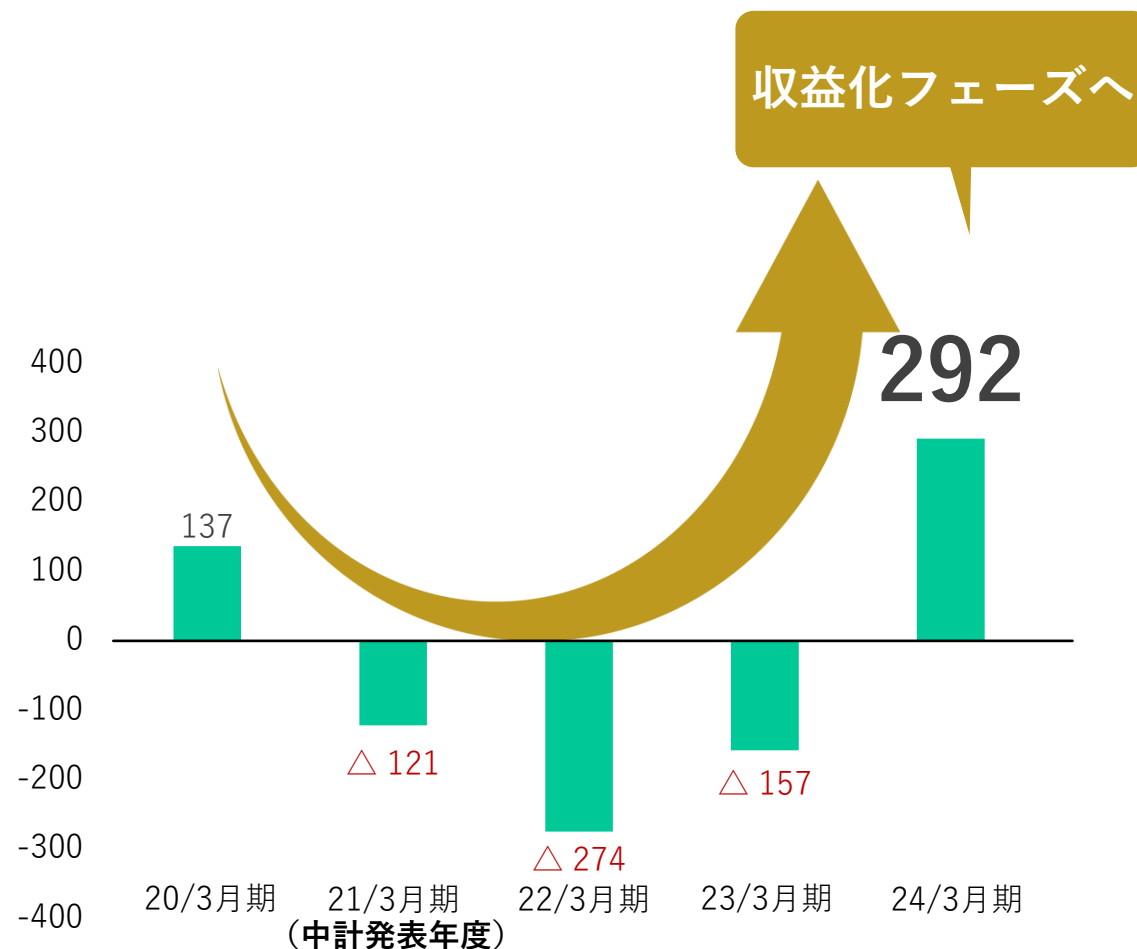
## ITインフラ事業 セグメント利益推移

(単位：百万円)



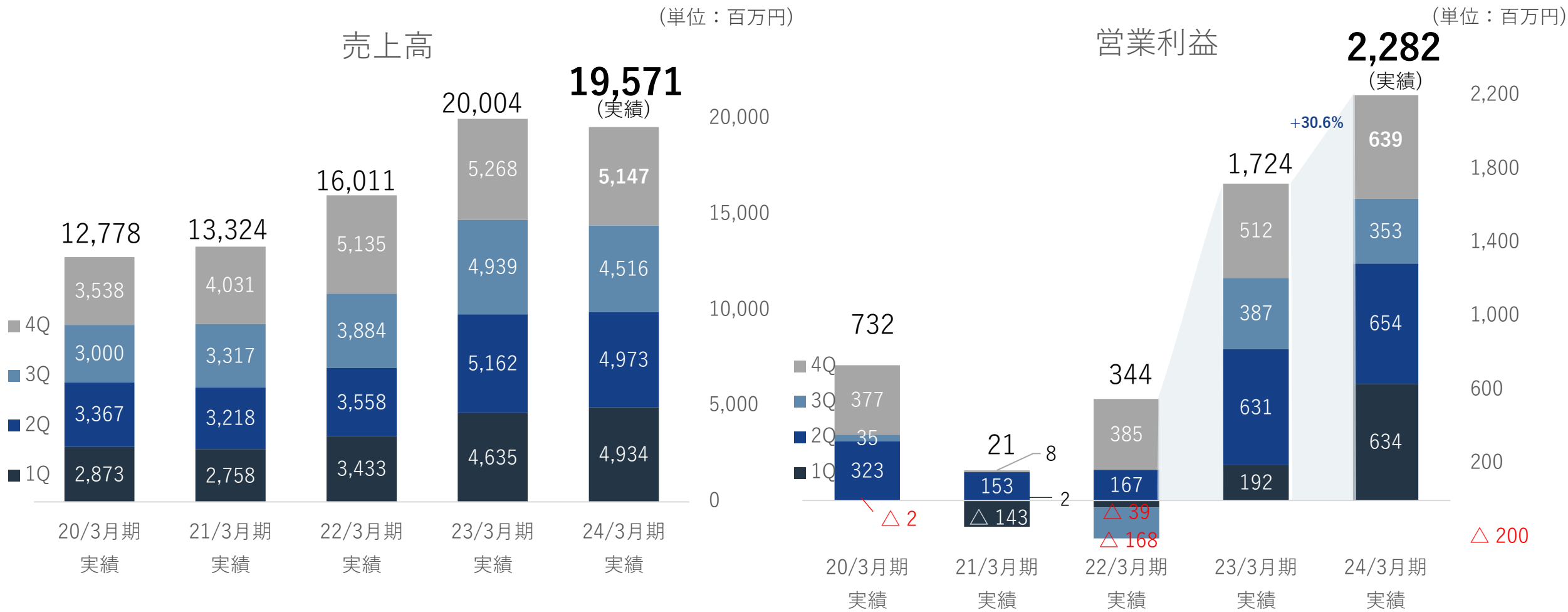
## デジタルM事業 セグメント利益推移

(単位：百万円)



# 四半期業績推移

ITインフラは電力以外の商材は堅調に売上増加。  
デジタルMの利益化により通期営業利益は修正計画22億円を完全達成し中計最終年度へ。



## 2024年3月期 連結PLサマリー(計画比較)

売上高：ITインフラのMFP、NW、ビジネスフォンが堅調に推移、  
デジタルマーケティングもSaaS売上が増加

利益：修正営業利益計画22億円を完全達成し、過去最高利益更新！

(単位：百万円)	2024年3月期 実績	11/10時点 修正通期計画	11/10時点 修正通期計画進捗率
売上高	19,571	19,500	+100.4%
営業利益	2,282	2,200	+103.7%
経常利益	2,253	2,220	+101.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,546	1,300	+118.9%



# 2024年3月期 BSサマリー

(百万円)	2023年3月末	2024年3月末	増減
流動資産	9,896	11,560	1,663
現預金	4,868	7,366	2,497
有形固定資産	226	232	6
無形固定資産	1,353	1,470	116
ソフトウェア	955	1,001	45
投資その他の資産	1,436	1,426	△9
<b>資産合計</b>	<b>12,912</b>	<b>14,689</b>	<b>1,776</b>
流動負債	5,953	6,135	181
借入金	1,986	2,436	450
固定負債	1,267	1,735	468
長期借入金	1,152	1,715	563
<b>負債合計</b>	<b>7,220</b>	<b>7,871</b>	<b>650</b>
<b>純資産合計</b>	<b>5,691</b>	<b>6,818</b>	<b>1,126</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>12,912</b>	<b>14,689</b>	<b>1,776</b>

受取手形・売掛金・  
契約資産 : △364  
流動資産その他 : △75  
棚卸資産 : △401

のれん : +72  
ソフトウェア : +45

買掛金 : △216  
未払法人税 : △347  
1年内返済予定長期借入金 : +250  
短期借入金 : +200  
未払金 : +164  
株式給付引当金 : +119

繰延税金負債 : +13  
株式給付引当金 : △81  
役員株式給付引当金 : △26



最先端を、人間らしく。

# 1. 2024年3月期 グループ連結業績概要

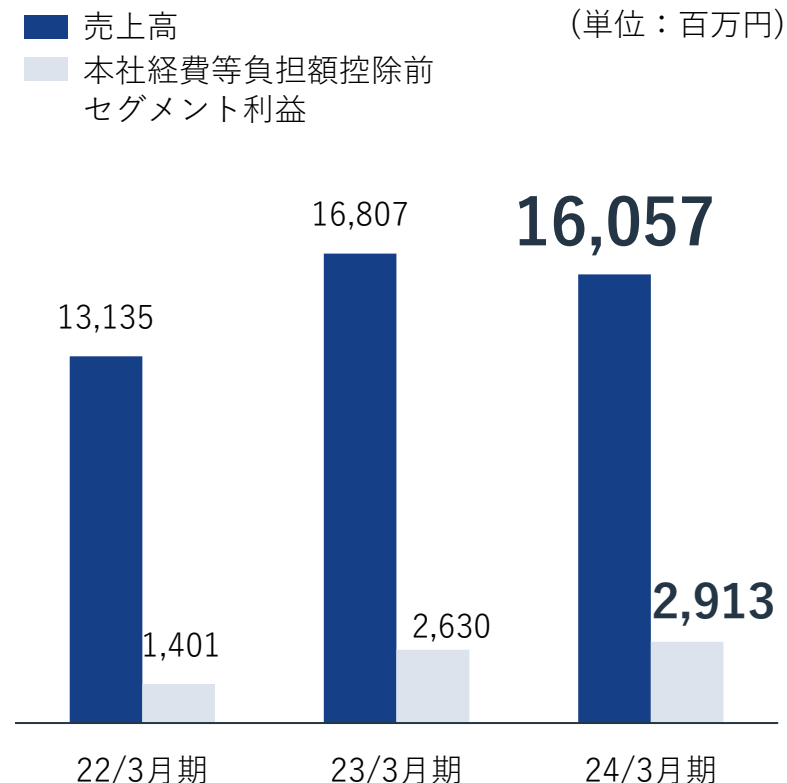
## (2) ITインフラ事業

# ITインフラ事業 セグメント状況

- 売上 : フロー売上についてもメイン商材は堅調に伸び。  
 ストック売上は通期で電力売上減少も利益への影響はなし。他の商材ストックは確り売上積み上げ。
- セグメント利益 : フロー及びストック収益が安定的に利益寄与。

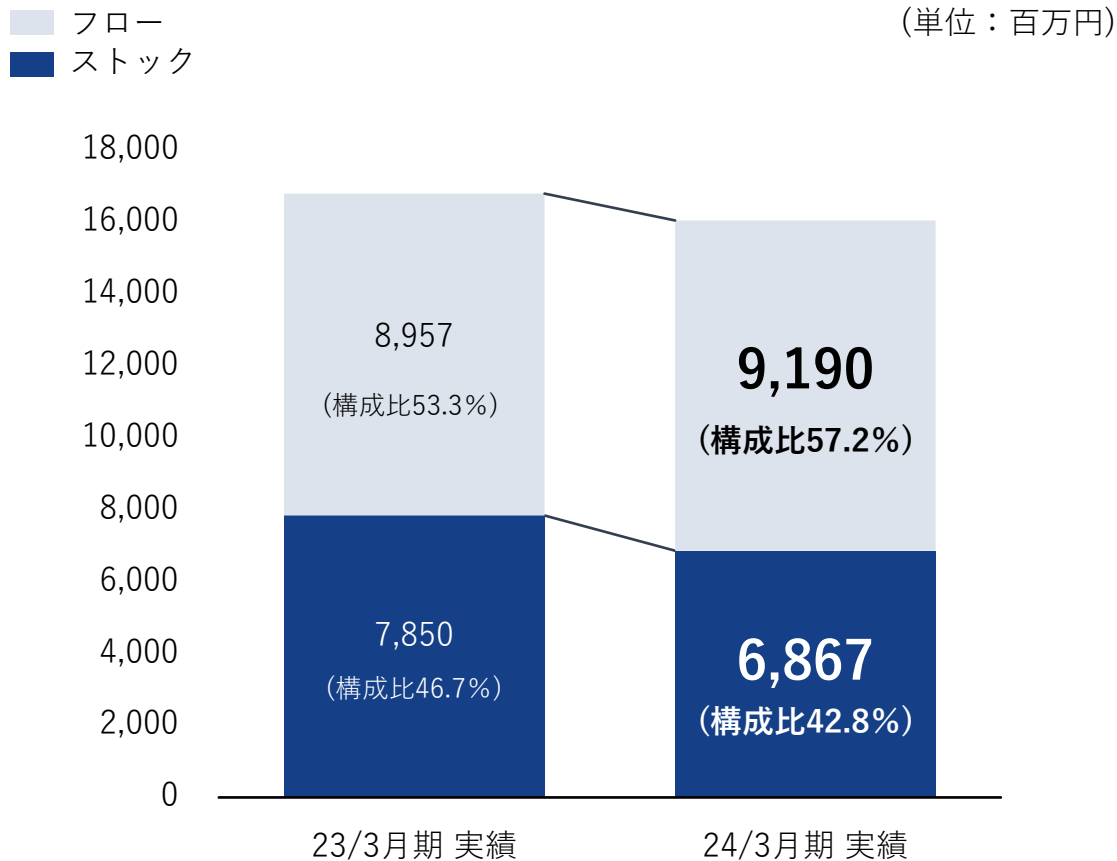
(単位：百万円)	23/3月期	24/3月期	増減	前年同期比
売上高	16,807	<b>16,057</b>	<b>△751</b>	<b>△4.5%</b>
フロー売上	8,957	<b>9,190</b>	<b>+233</b>	<b>+2.6%</b>
ストック売上	7,850	<b>6,867</b>	<b>△983</b>	<b>△12.5%</b>
(電力を除くストック売上)	<b>5,284</b>	<b>5,468</b>	<b>+184</b>	<b>+3.5%</b>
セグメント利益	1,835	<b>1,891</b>	<b>+55</b>	<b>+3.0%</b>
本社経費等負担額	794	<b>1,022</b>	<b>+227</b>	<b>+28.6%</b>
本社経費等負担額控除前 セグメント利益	2,630	<b>2,913</b>	<b>+283</b>	<b>+10.7%</b>
EBITDA	1,986	<b>2,031</b>	<b>+45</b>	<b>+2.3%</b>

## 業績比較

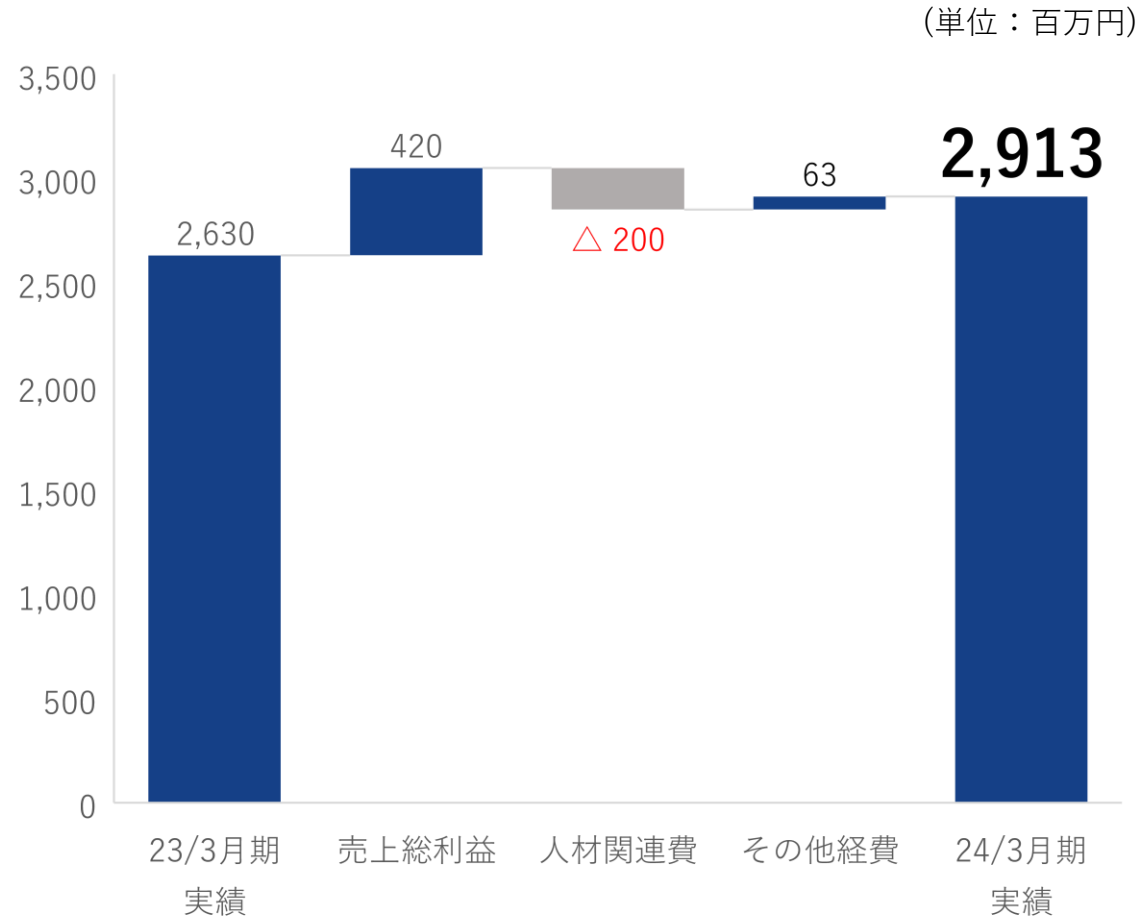


# ITインフラ事業 前年同期との差異分析

## 売上高構成



## セグメント利益増減

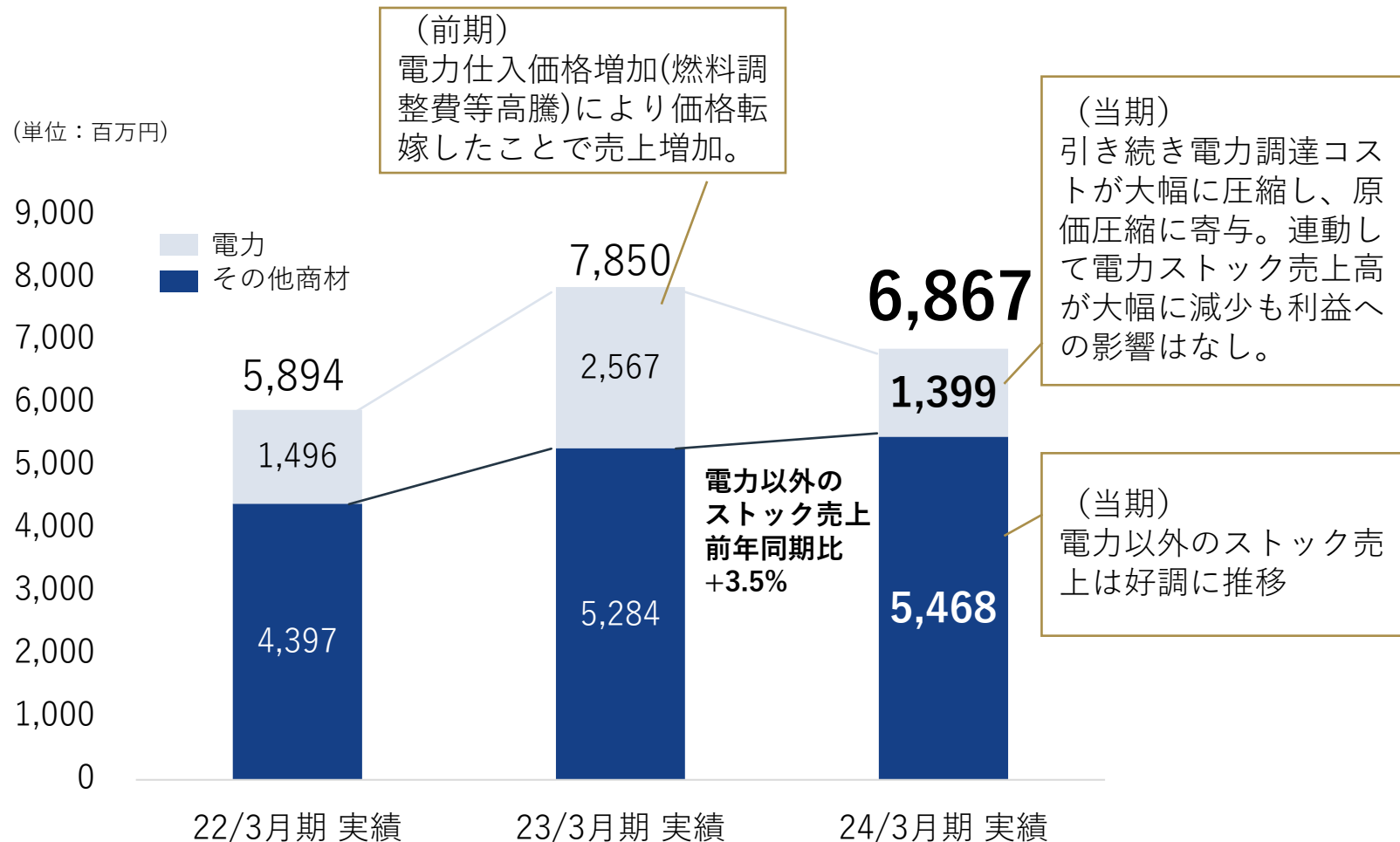


\*グラフのセグメント利益は本社経費等負担額控除前

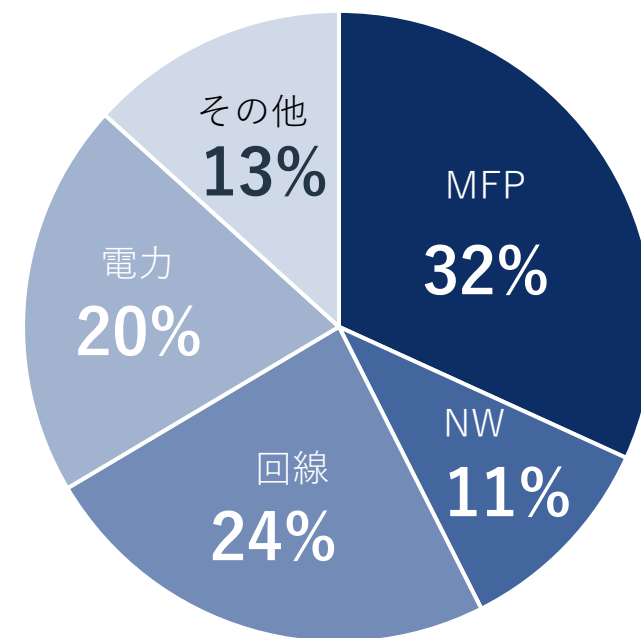
\*販管費の(△)マイナスは費用増加・利益圧縮、プラスは費用減少・利益増加

## NW、回線などストック売上高は堅調に増加

電力は燃料価格の大幅変動により、原価と売上高が前期から大幅減少も引き続き利益率改善



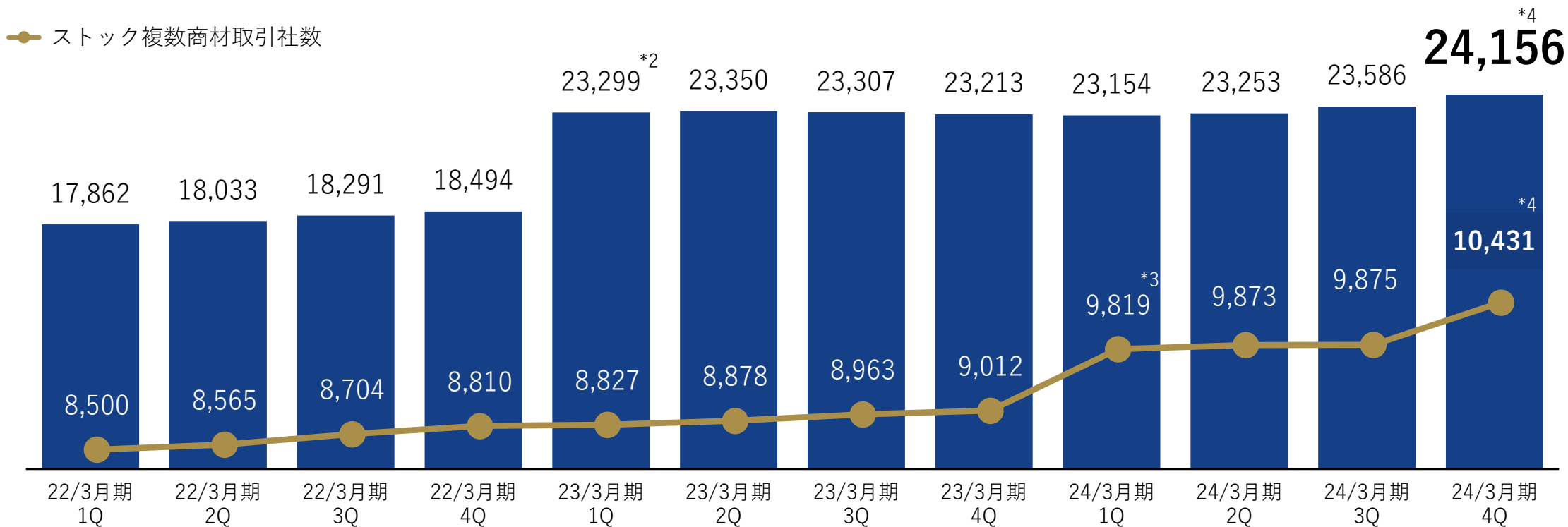
## インフラ事業ストック売上高構成比



※2024年3月期実績

ストック商材取引社数\*1

事業譲受、M&Aにより取引社数及び複数商材取引社数共に順調に増加。



\*1 : 四半期期末の請求社数と2商材以上を請求している社数を算出

\*2 : 23/3月期1Qから22/11月の事業譲受分加算(取引社数)

\*3 : 24/3月期1Qから22/11月の事業譲受分の複数取引社数を加算(複数商材取引社数)

\*4 : 24/3月期4Qから23/10月のM&A分の複数取引社数を加算(取引社数及び複数商材取引社数)



最先端を、人間らしく。

# 1. 2024年3月期 グループ連結業績

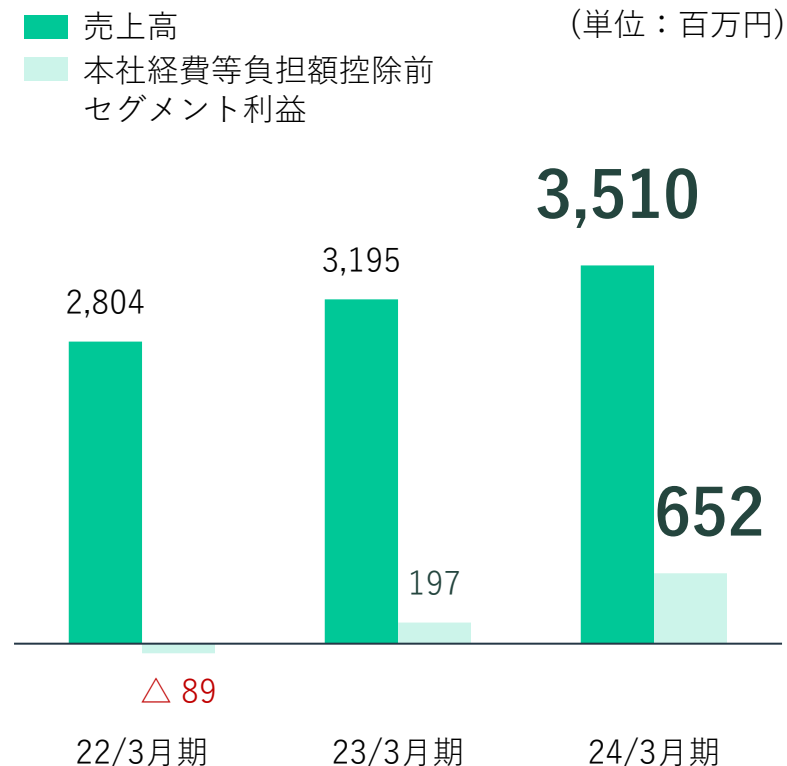
## (3) デジタルマーケティング事業

# デジタルマーケティング事業 セグメント状況

売上 : SaaSツールが順調に積み上げ、ストック売上高増加  
 セグメント利益 : EBITDAもセグメント利益も完全黒字化し、黒字幅拡大

(単位：百万円)	23/3月期	24/3月期	増減	前年同期比
売上高	3,195	3,510	+315	+9.8%
フロー売上	900	889	△11	△1.2%
ストック売上	2,295	2,620	+325	+14.2%
セグメント利益	△157	292	+450	—
本社経費等負担額	355	360	+5	+1.3%
本社経費等負担額控除前 セグメント利益	197	652	+454	+229.6%
EBITDA	177	510	+333	+188.1%

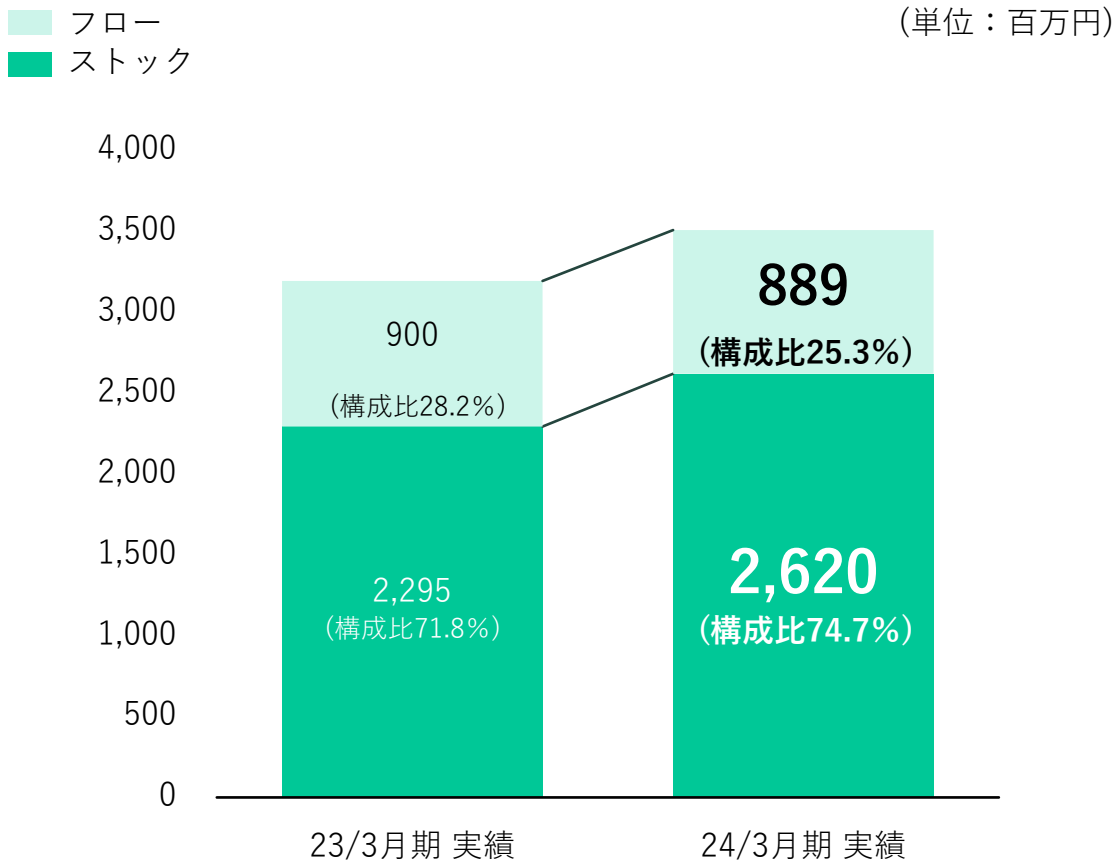
## 業績比較





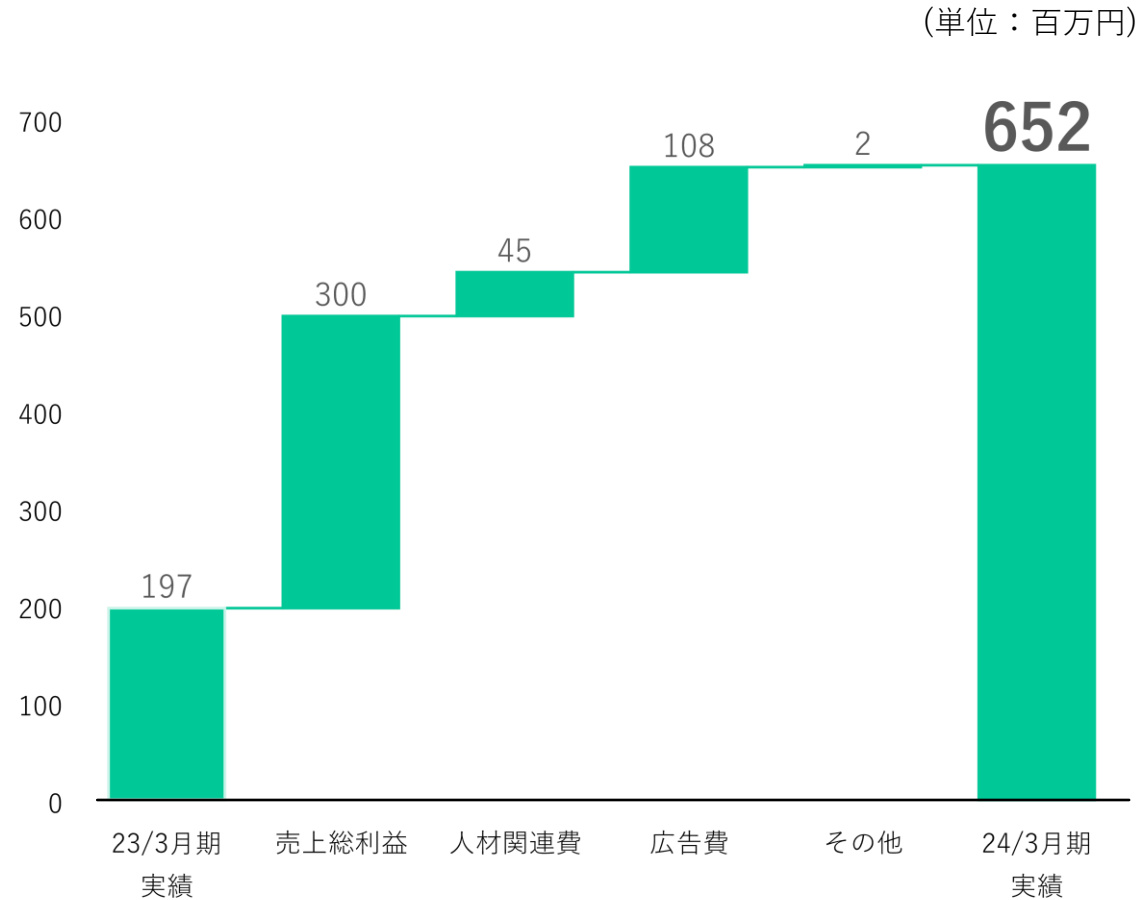
# デジタルマーケティング事業 前年同期との差異分析

## 売上高



\*ストック売上は、SaaSツール売上、SaaSツール運用支援売上、その他ストック売上(インターネット広告関連ビジネス等)で構成。

## セグメント利益

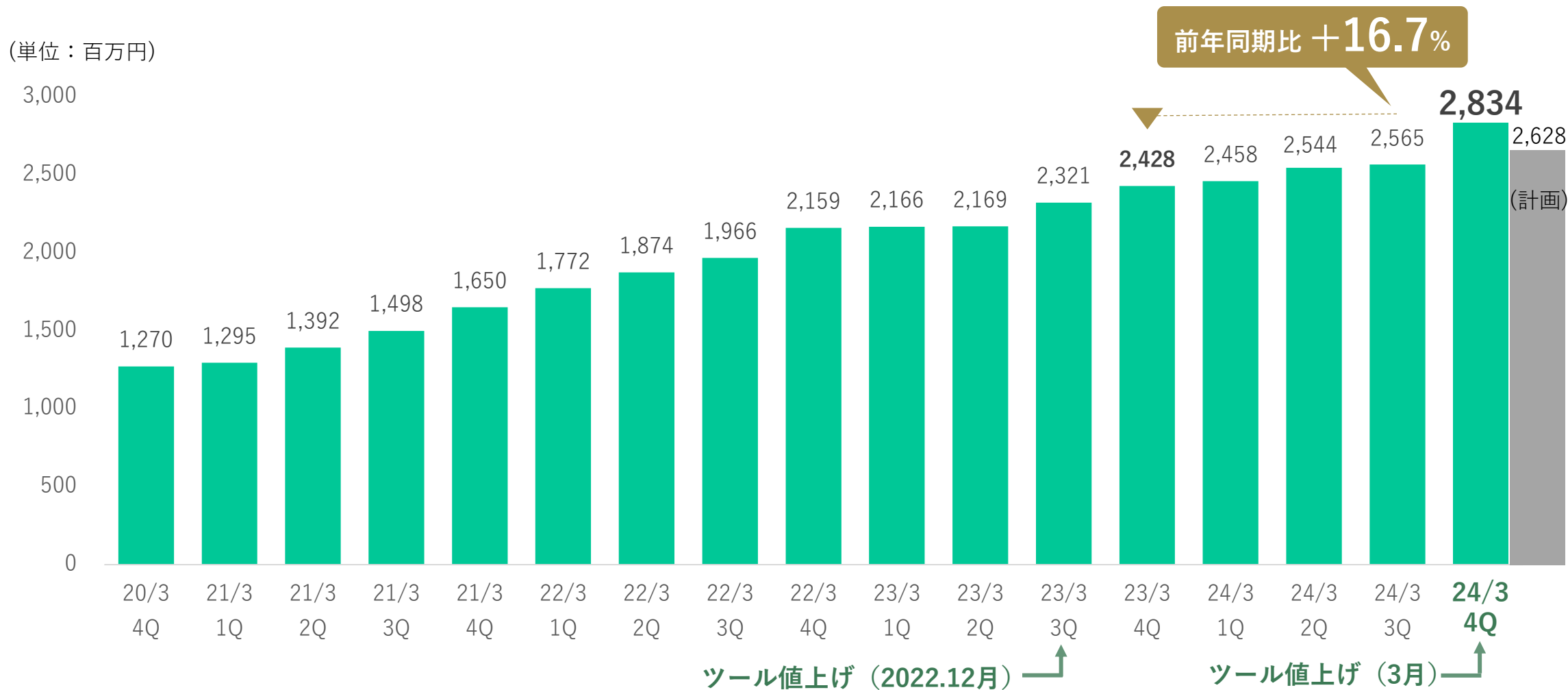


\*グラフのセグメント利益は本社経費等負担額控除前

\*販管費の(△)マイナスは費用増加・利益圧縮、プラスは費用減少・利益増加

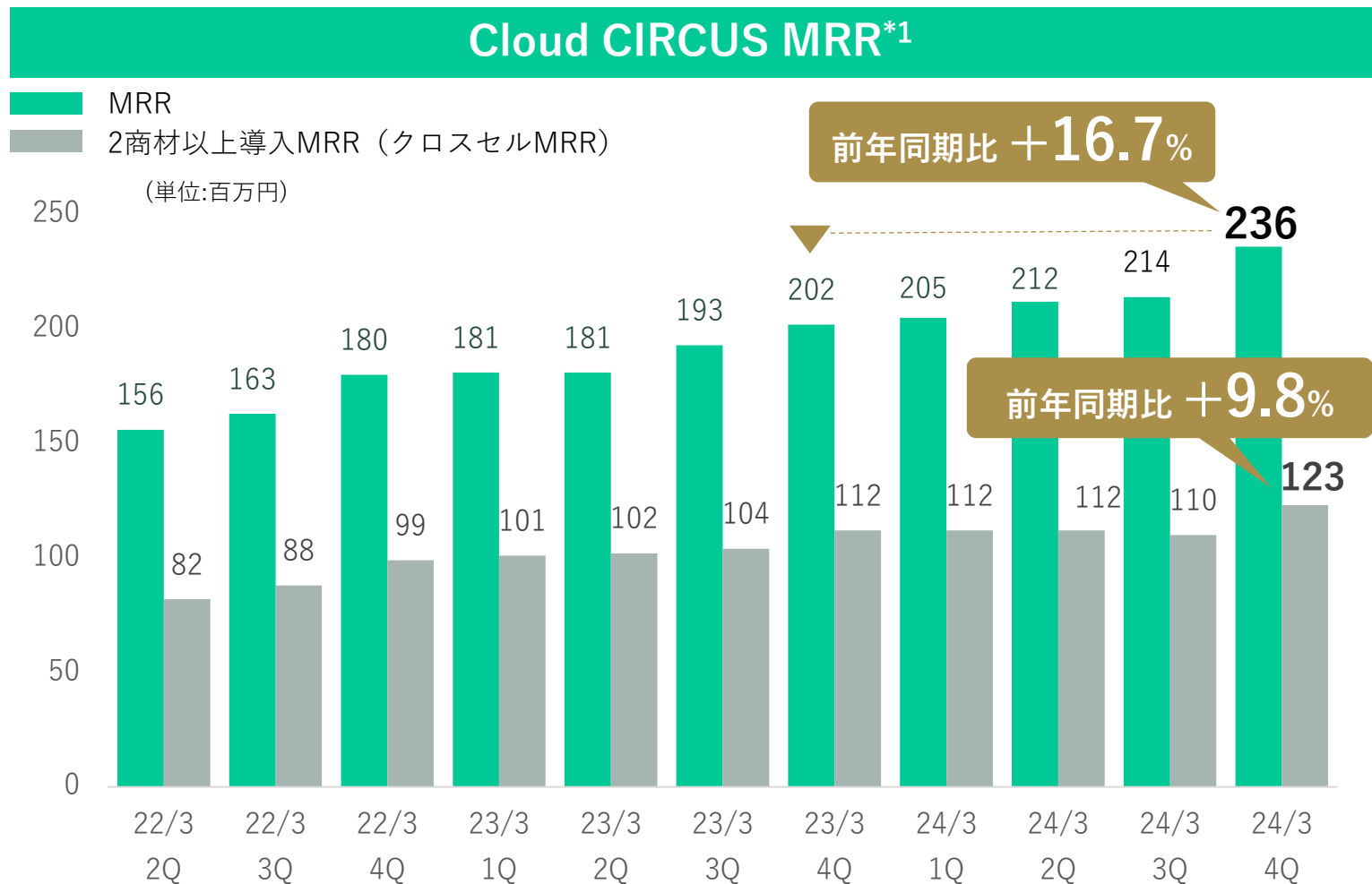
# デジタルマーケティング事業 ARR実績

年間を通して積み上げたMRRは3月実施の一部ツール値上げにより年間目標の2,628百万円を超えて大幅達成



# デジタルマーケティング事業 主要KPI(1)

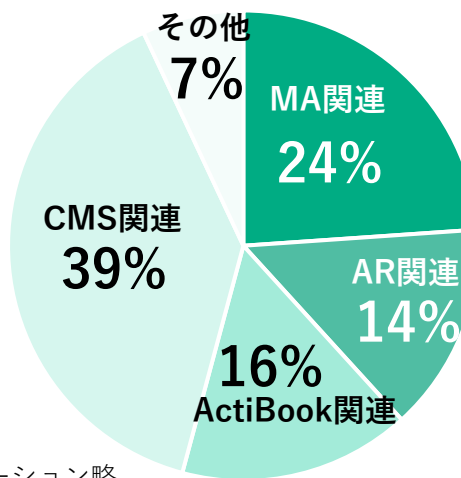
MA\*3ツールが引き続き業績を牽引し、MRR\*1は236百万円にまで増加！



### 過去12ヶ月平均顧客解約率\*2

当期末時点  
**1.6%**  
(前年同期末時点: 1.5%)

### MRR\*1構成比



\*1 MRRは各四半期末時点のサブスクリプション売上の月額

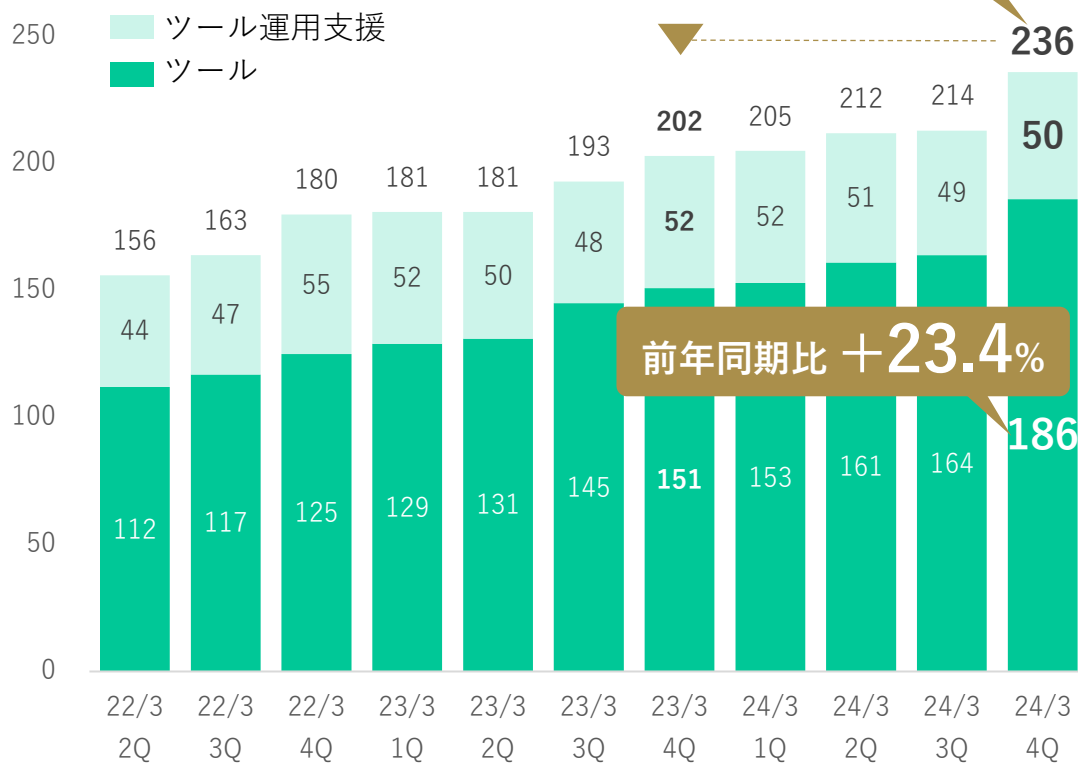
\*2 直近12ヶ月間における各月の「月中に解約となったライセンス数÷前月末時点でのライセンス数」の平均値

\*3 マーケティングオートメーション略

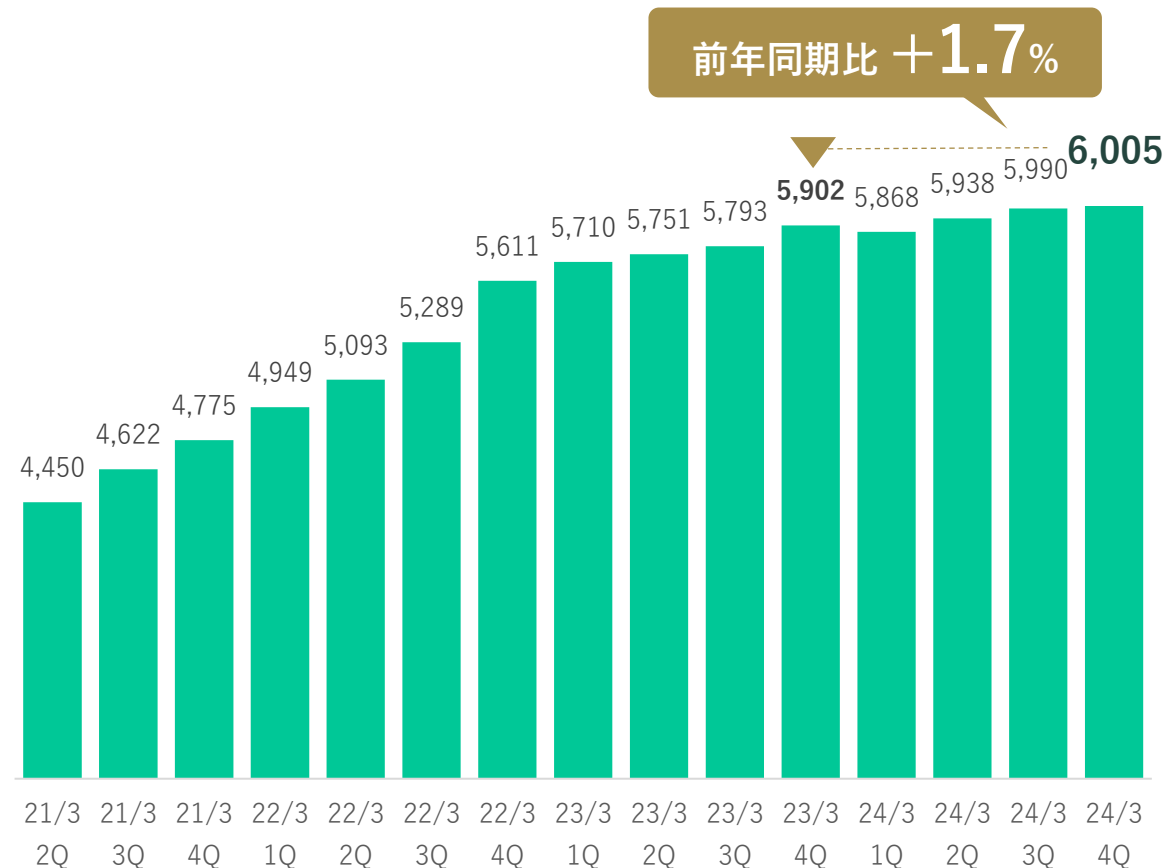
## SaaSツール本体（オプションのツール運用支援を除く）のMRR\*1 186百万円まで増加！

### Cloud CIRCUS MRR\*1内訳（ツール/運用支援）\*1

(単位:百万円)



### ライセンス数\*2



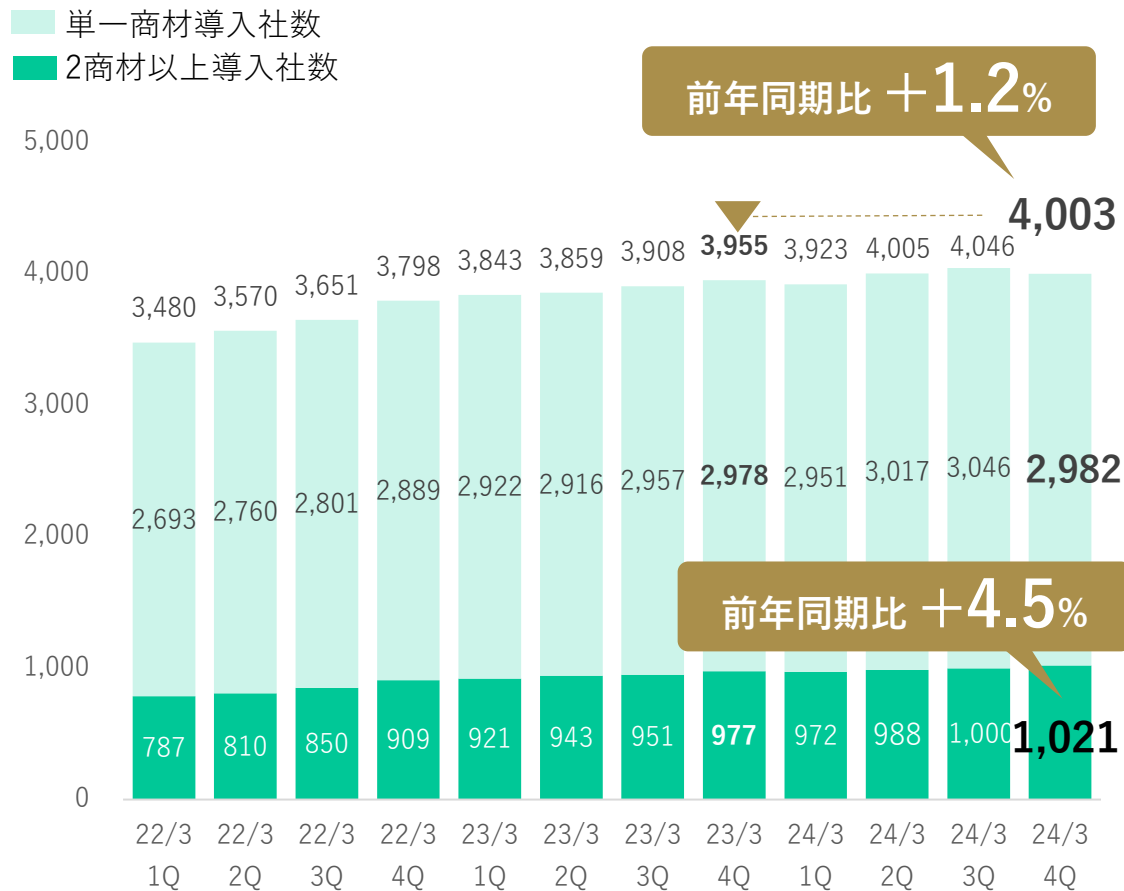
\*1 MRRは各四半期末時点のサブスクリプション売上の月額

\*2 ライセンス数は各四半期末時点の有料契約ライセンス数

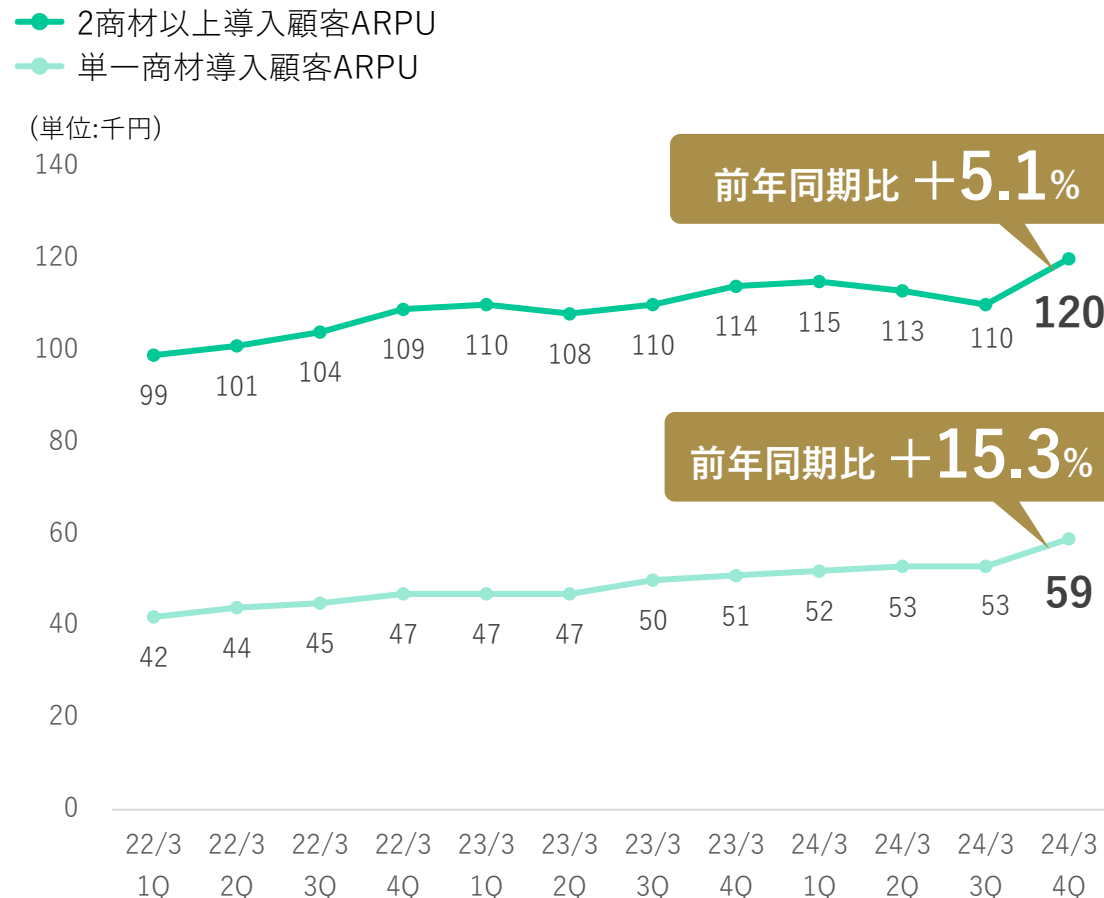
# デジタルマーケティング事業 主要KPI(3)

複数商材利用顧客数は増加。一部ツール値上げにより単一導入社数は減少も想定通り。  
一方、値上げと2商材以上導入社数増加でARPUは大きく向上。

## 顧客数（有料アクティブユーザー）



## 顧客単価(ARPU)\*1



\*1 ARPU=各四半期末時点のMRR/契約社数

section

# 02

## 01 2024年3月期 グループ連結業績概要

- (1) グループ連結
- (2) ITインフラ事業
- (3) デジタルマーケティング事業

## 02 Appendix

- (1) Topics
- (2) 会社概要

# 2. Appendix

東証プライム 3393

**startia**holdings

最先端を、人間らしく。

## 2. Appendix

### (1) Topics

2023年10月 新たに株式会社ビジネスサービスが加わり兵庫県内のフォローエリア拡大



## 株式会社ビジネスサービス

### 【会社概要】

- ・社名：株式会社ビジネスサービス
- ・住所：兵庫県姫路市西今宿2-4-6
- ・設立：1980年7月17日
- ・決算期：6月  
(株式譲渡後に決算期を3月に変更予定)
- ・資本金：2,000万円
- ・主な事業内容：OA機器の販売
- ・従業員数：15名

姫路市中心に約3000社にOA機器提供



ビジネスサービスは、兵庫県を中心に約3,000社の顧客基盤を有しています。今後の計画として、スターティアグループのサービスをクロスセルすることにより、新規顧客との取引を拡大することを目指しています。また、スターティア大阪支店との協業体制を構築することで、ビジネスサービス分野におけるさらなる成長を図ります。

※MIF：MIF. Machines In the Fieldの略称。  
MFP（複合機）やプロダクションプリント機の市場における累積設置台数（稼働台数）を意味する。

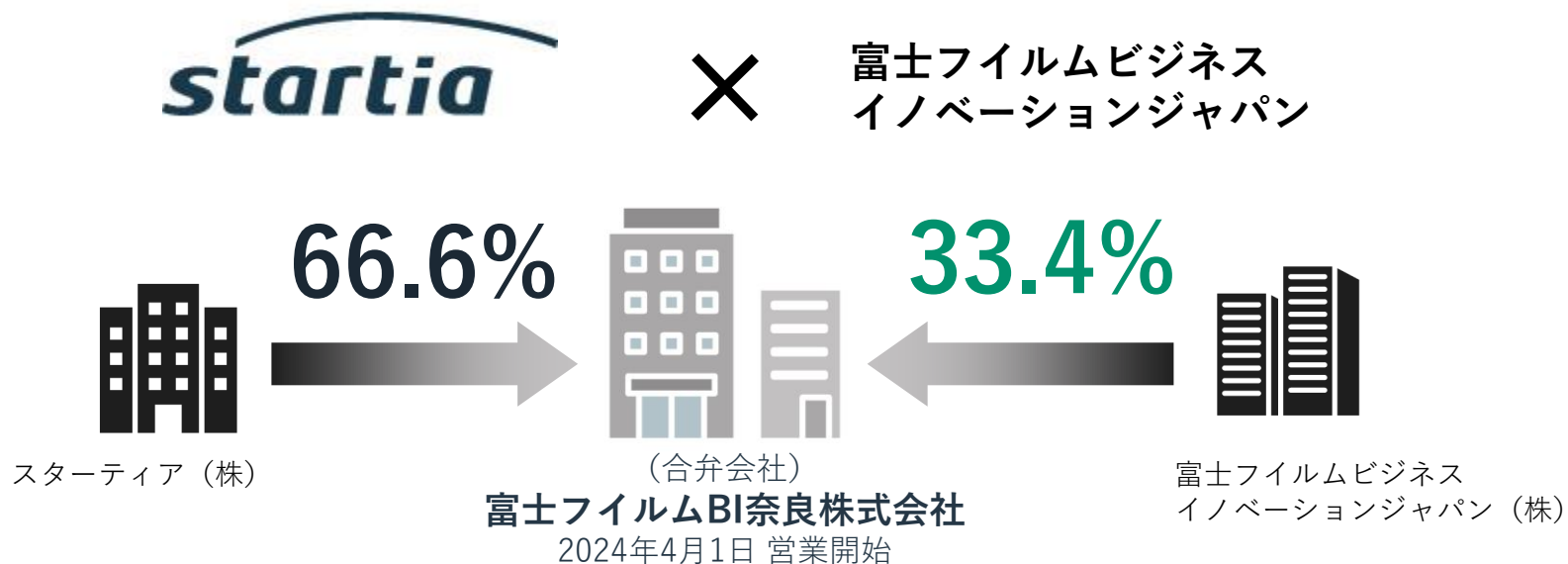
※ビジネスサービスの過去実績

(単位百万円)	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期
売上高	603	552	555
営業利益	29	21	19
経常利益	35	24	22
当期純利益	14	16	15

※ビジネスサービスの消費税等の会計処理は税込方式を採用しております



富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社との合併会社設立



奈良県内全域が販売エリア

■背景と目的

当社グループは、2021年3月期から2025年3月期までの5ヵ年を対象とした中期経営計画を達成すべく、事業を推進しております。ITインフラ関連事業においては、オーガニック成長に加え、M&Aによる顧客基盤の拡大やアライアンスの推進による更なる成長を遂げて参ります。当社グループの強みであるストック売上を中心とした商品・サービス間のクロスセルに注力しつつ、生産性を高め、ITの総合サービス企業として業態を進化させていくことで、引き続き中長期的な利益拡大成長を目指しております。今般、奈良県内における新規顧客獲得による県内複合機販売シェアの拡大、DX支援を通じた関係性強化による既存顧客基盤の維持・拡大を目的とし、スターティアは富士フィルムビジネスイノベーションジャパンと合併会社「富士フィルムBI奈良株式会社」を設立するための株主間協定書を締結いたしました。

スターティアレイズのデータ連携ツール『JENKA』、OpenAI社の「GPT-4 Turbo」と連携開始！



## ■概要

2024年4月、スターティアレイズ株式会社(本社:東京都、代表:古川征且)において、データ連携ツール『JENKA』にてOpenAI社の「GPT-4 Turbo」と連携開始。今回リリースしたOpenAI社の「GPT-4 Turbo」と各種クラウドサービスを連携するコネクタの実装により、さらにバックオフィス業務の効率化が可能になります。受信したメール本文の翻訳や要約、その後のデータ整理などを自動化することが可能になり、業務をスムーズに進めることができます。



クラウドサーカス、福島銀行、東北コピー販売と中小企業のDX支援を目的とした業務提携を締結



## ■背景と目的

地方の中小企業では、優れた製品やサービスを提供しながらも、適切な顧客に届けることが難しい現状があり、売上向上の課題を抱えています。また、デジタルトランスフォーメーション（DX）を自社で進める中で、デジタルツールの選定、導入、活用には専門知識が必要となり、外部からのサポートが求められています。このような状況の中、**2024年1月**、福島銀行様が中小企業やスタートアップへの支援を、東北コピー販売様がDXノウハウを提供し、クラウドサーカスのデジタルマーケティングツールを通じて、福島県の中小企業やスタートアップのマーケティングDXを促進し、成長企業の創出に寄与することを目的として、本提携に至りました。



2024年2月1日 締結式にて

【スターティアウィル】 就労移行支援事業所 ウィルチャレンジを4月1日より営業開始



## ■背景と目的

スターティアウィル株式会社(本社:千葉県、代表取締役: 西田博)は2024年3月1日、熊本市より「指定障害福祉サービス事業者」の承認を受け、同年4月1日より就労移行支援事業所 ウィルチャレンジの営業を開始いたしました。

当営業所は障がいのある方が就労先の戦力として長期で働くために、必要なスキルや知識を身につけてもらうことを目的として就労移行支援を行なっています。



東証プライム 3393

**startia**holdings

最先端を、人間らしく。

## 2. Appendix

### (2) 会社概要

# startiaholdings

最先端を、人間らしく。

## 経営理念

社会のニーズとマーケットを見極め、人と企業の未来を創造し、  
優れた事業と人材を輩出するリーディングカンパニーを目指す

## ビジョン

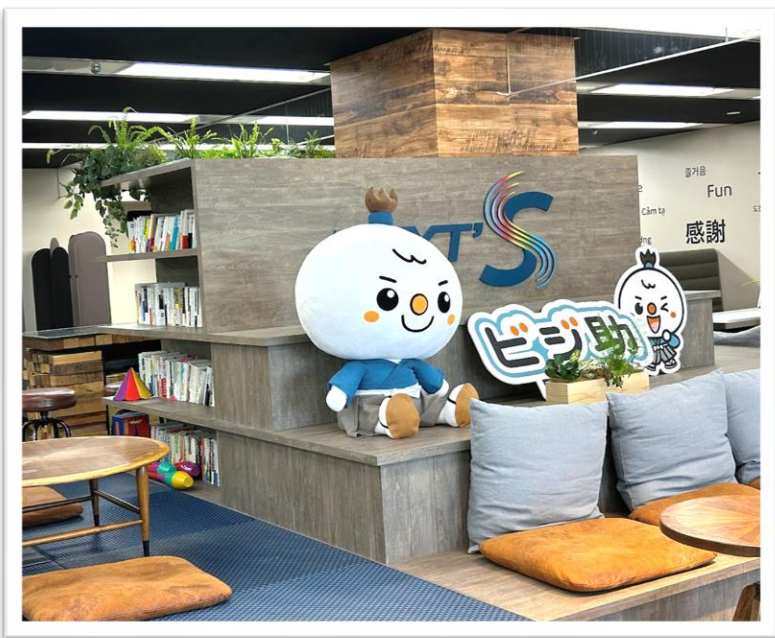
「誰もが挑戦し永続進化できる世界」

自らを変革しながら、多くの人と企業が、  
当たり前に変化することを支えるグループ

## ミッション

「未来機会の創造」

私達は多くの人と企業に前向きな未来を実現する  
チャンスを提供しつづけることで挑戦に溢れた世の中を実現します



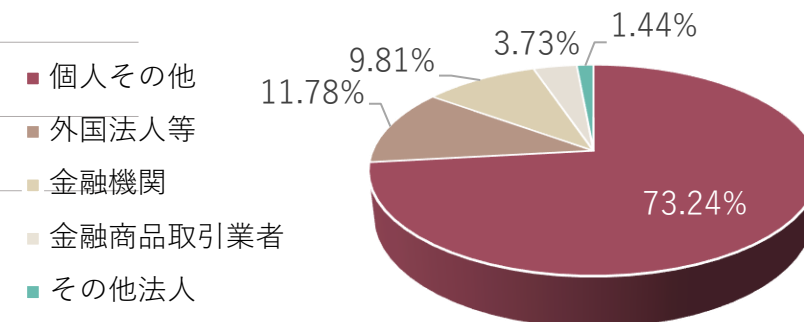
# 会社概要

社名	スターティアホールディングス株式会社
住所	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス19階
設立	1996年2月
上場	東証プライム(2022年4月4日) 東証一部(2014年2月28日) 東証マザーズ(2005年12月20日)
代表取締役	本郷 秀之
グループ会社	連結子会社：11社、持分法適用関連会社：2社
従業員	連結908名(2024年3月31日現在) ※取締役、監査役、派遣社員、アルバイト除く
決算	3月31日
資本金	8億2,431万円(2024年3月31日現在)
発行済株式数	10,240,400株(2024年3月31日現在)
株主数	4,189名(2024年3月31日現在)



代表取締役社長 兼 最高経営責任者  
**本郷 秀之**

1966年5月生  
1996年当社設立し現在に至る  
(当社株式保有29.28%)



# 主要メンバー



## スターティアHD 代表取締役社長/本郷秀之

- ・1996年当社創業、代表取締役社長就任(現任)
- ・2018年には返済不要の奨学金給付を行う団体として公益財団法人ほしのお設立、代表理事就任(現任)
- ・2018年に一般社団法人熊本イノベーションベース(旧:熊本創生企業家ネットワーク)設立、代表理事就任(現任)し、故郷熊本の2016年発生の震災復興に取り組み、地方創生にも尽力



## スターティアHD 取締役/植松崇夫

- ・2004年当社入社  
入社以来、主に財務・会計業務に従事し、財務経理部門を筆頭に各種コーポレート部門の責任者を歴任。
- ・2018年に取締役就任(現任)、  
当社グループCFOとして広報/IRにも従事



## スターティアレイズ 代表取締役社長/古川征且

- ・1996年当社創業メンバーとして参画し取締役就任
- ・1998年にネットワーク・クラウド事業を立ち上げ
- ・2018年バックオフィスDX事業を展開する  
スターティアレイズ代表取締役社長就任(現任)
- ・2021年にはChatwork(株)との合併会社である  
Chatworkストレージテクノロジーズの取締役就任(現任)



## スターティアHD 取締役/笠井充

- ・2002年当社入社
- ・2007年に複合機事業を立ち上げ  
その後、代理店の拡大及びM&Aを中心とした  
当社グループの顧客基盤拡大を継続遂行
- ・2018年ITインフラ事業の軸であるスターティア代表取締役社長就任(現任)
- ・2021年スターティアリード代表取締役社長就任



## クラウドサーカス 代表取締役CEO/北村健一

- ・2001年当社入社  
2004年にWEB及び電子ブック事業を立ち上げ
- ・2009年社内ベンチャーとしてスターティアラボ  
(現クラウドサーカス)設立、代表取締役就任(現任)
- ・2020年から各種ツール販売を統合型デジタルマーケティング  
SaaSツール「CloudCIRCUS」としてリブランディングを遂行



# グループ会社

当社グループについて(連結子会社11社、持分法適用関連会社2社) ※1：連結子会社

**ITインフラ関連事業 ※1**



スターティア(株)



株式会社エヌオーエス  
(株)エヌオーエス



スターティアリード(株)



ビーシーメディア株式会社  
ビーシーメディア(株)



株式会社ビジネスサービス  
(株)ビジネスサービス

富士フィルムBI奈良(株)  
(当社G出資比率66.6%)  
※富士フィルムビジネスイノベーション  
ジョンジャパン(株)との合弁企業

システムインテグレーション、セキュリティ対策、  
通信システム、OA機器販売

**バックオフィスDX事業※1**



スターティアレイズ(株)  
業務効率化ソリューション  
RPA、AI-OCRの提供



C-desgin(株)  
電子署名サービス、業務支援  
プラットフォームサービス  
「cocrea」の運営

**デジタルマーケティング 事業 ※1**



クラウドサーカス(株)  
マーケティング・営業支援  
ツール「Cloud CIRCUS」の  
提供

**その他 ※1**



Startia Asia Pte.Ltd.  
シンガポール アジア地域の  
事業統括及び投資事業



スターティアウィル(株)  
スターティアグループの業務請  
負・障がい者雇用のコンサル  
ティングなど

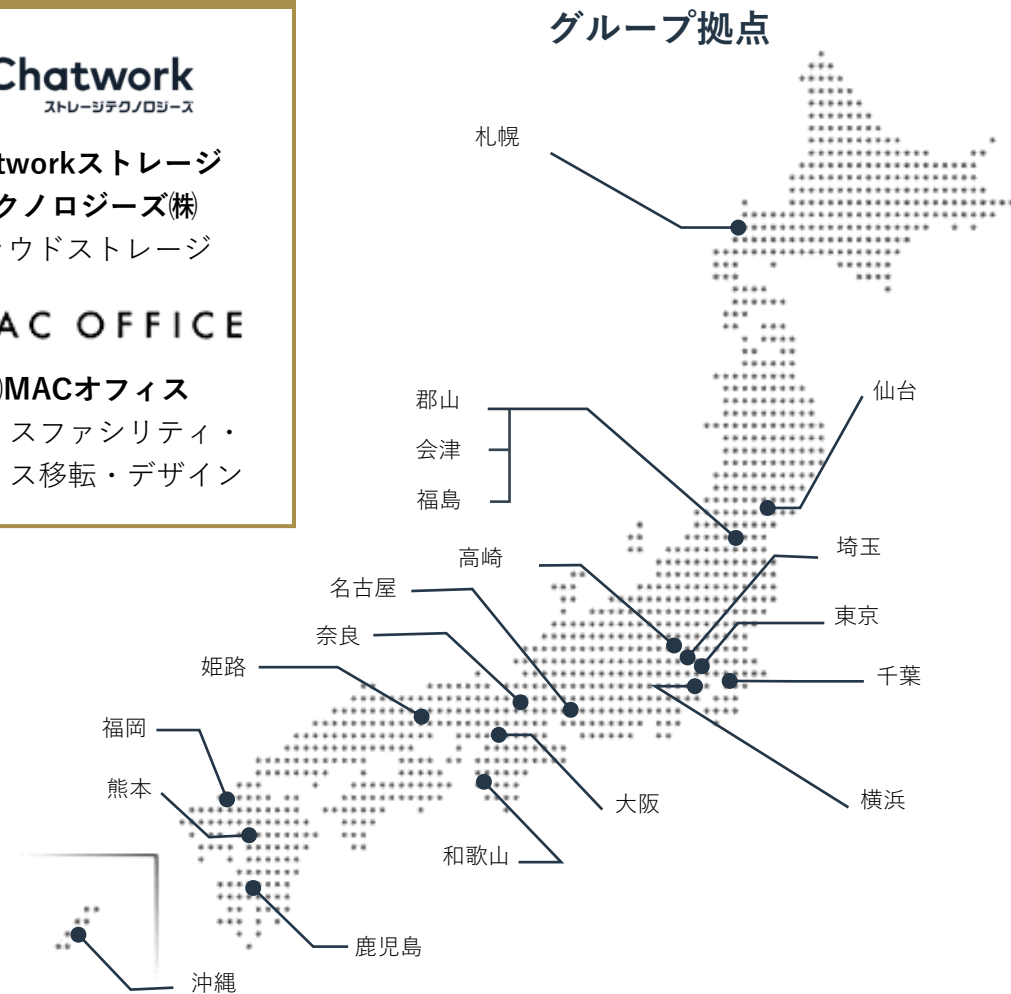
**持分法適用関連会社**



Chatworkストレージ  
テクノロジーズ(株)  
クラウドストレージ



(株)MACオフィス  
オフィスファシリティ・  
オフィス移転・デザイン



# 主要な商品サービス

## 守りのDX

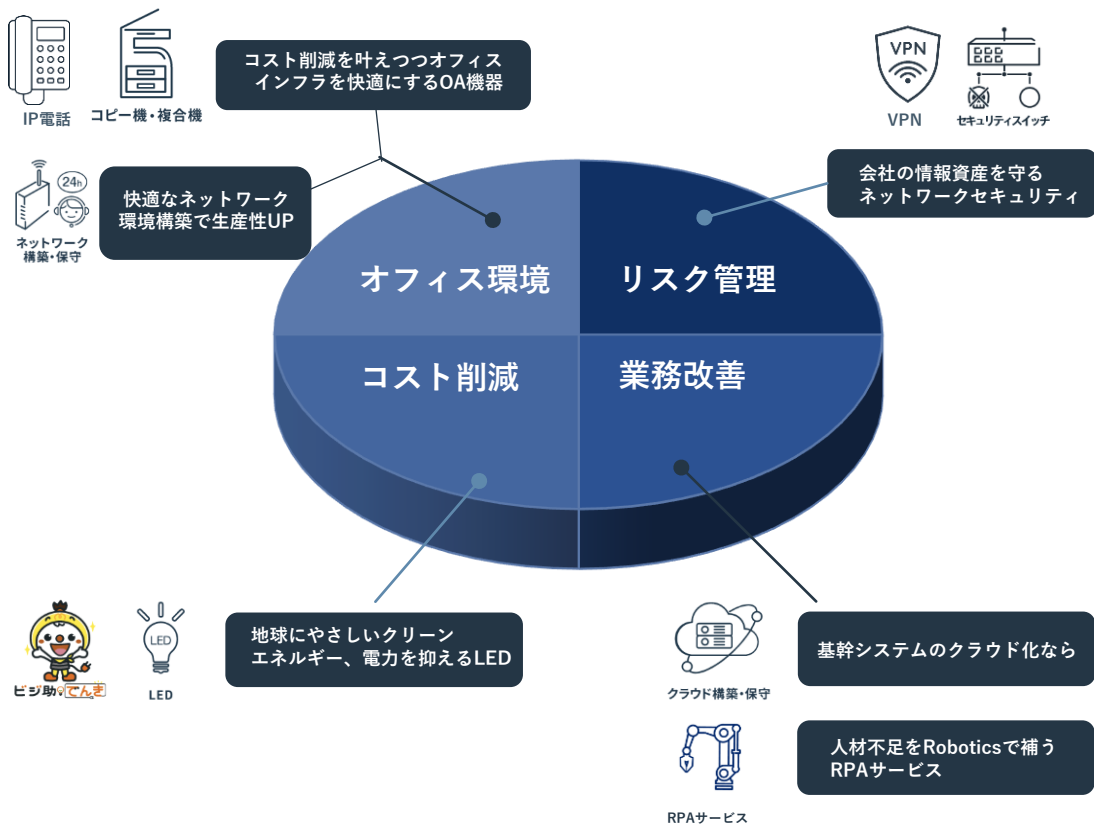
## ITインフラ事業

## 攻めのDX

## デジタルマーケティング事業

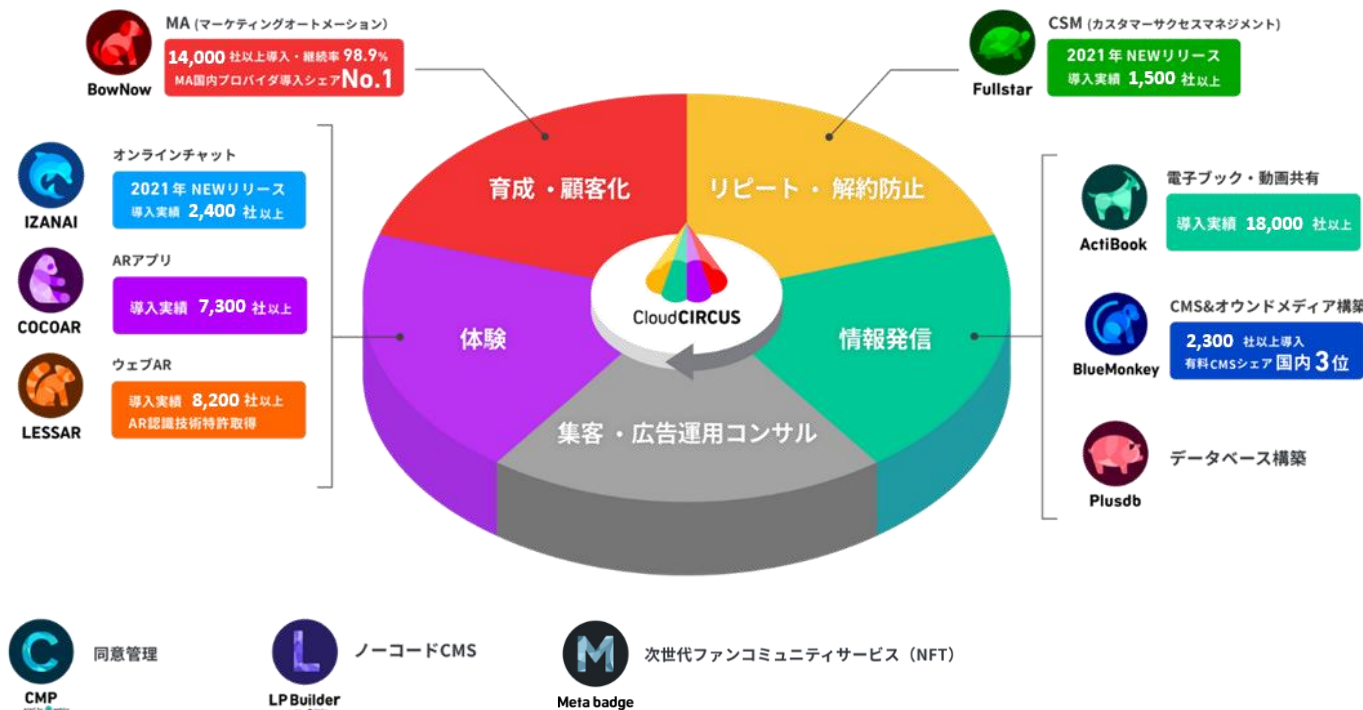
中小企業を中心に、ITに関する課題解決・DXをワンストップで対応

コスト削減・業務効率化・生産性向上



マーケティングと営業の成果を変える「Cloud CIRCUS」ツール

顧客獲得・売上拡大



# 売上高推移・営業利益推移

■ 売上(左軸:棒)  
— 営業利益(右軸:折線)

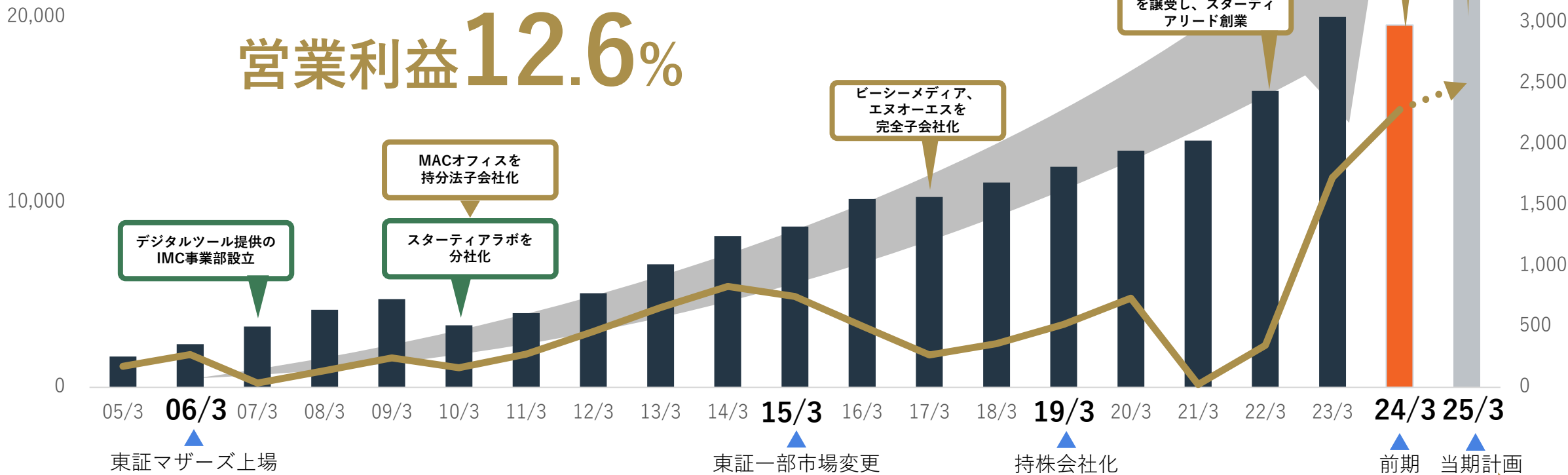
デジタルマーケティング事業  
ITインフラ事業(新規・新設)  
ITインフラ事業(M&A)

上場来の成長(CAGR)：年平均成長率

売上 **12.6%**

営業利益 **12.6%**

(単位：百万円)





最先端を、人間らしく。

## スターティアホールディングス株式会社 広報IR窓口

〒163-0919東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モリス19階

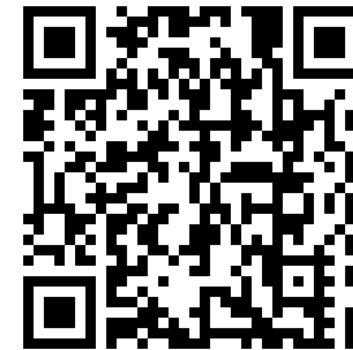
TEL : 03-5339-2109(平日9時~18時)

MAIL : ir@startiaholdings.com

IR情報ホームページ

<https://www.startiaholdings.com/ir.html>

※IRメール配信登録QRコード  
ご登録いただいた皆様にニュースリリース、決算情報など、  
IRに関する新着情報をメールにてお届けいたします。



当資料は、当社の現状をご理解いただくために当社が作成したものです。当資料に含まれる情報は当社内の知見及び当社が入手可能な公開情報等から引用したものであり、これらの正確性について当社は保証しません。また、当社の実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。